

混合植物抽出液

本品は、キウイ *Actinidia chinensis* Planch (*Actinidiaceae*) 種子、イチゴ *Fragaria chiloensis* (L.) Mill. (*Rosaceae*) 果実、ユズ *Citrus junos* Sieb. Et Tanaka (*Rutaceae*) 種子、ウンシュウミカン *Citrus unshiu* Marcowicz. (*Rutaceae*) 果皮、及びマンゴスチン *Garcinia mangostana* L. (*Clusiaceae*) 果皮の混合物を原料としたプロパンジオール溶液抽出液に、ブドウ *Vitis vinifera* L. (*Vitaceae*)の葉・種子・果皮抽出物を加え、さらにアラントイン、グリチルリチン酸ジカリウム、サリチル酸、水酸化ナトリウムを加えた混合植物抽出液である。

製造方法

キウイ *Actinidia chinensis* Planch (*Actinidiaceae*) 種子、イチゴ *Fragaria chiloensis* (L.) Mill. (*Rosaceae*) 果実、ユズ *Citrus junos* Sieb. Et Tanaka (*Rutaceae*) 種子、ウンシュウミカン *Citrus unshiu* Marcowicz. (*Rutaceae*) 果皮、及びマンゴスチン *Garcinia mangostana* L. (*Clusiaceae*) 果皮の混合物にプロパンジオール溶液を加え抽出した後、得られた混合植物抽出液にブドウ *Vitis vinifera* L. (*Vitaceae*)の葉・種子・果皮抽出物を加え、さらにアラントイン、グリチルリチン酸ジカリウム、サリチル酸、水酸化ナトリウムを加え混合し、ろ過して製品とする。

混合原料 90 g → 製品 0.8~1 kg

性状

本品は、帯赤黄色～暗赤褐色の液体で、においはわずかに特異なおいがある。

確認試験

- ・ アントシアニン（ブドウ葉・種子・果皮エキス）
本品 1 滴にメタノール 5 mL を加え、塩酸 0.2 mL を加えて 80°C で 10 分間加熱するとき、液は淡赤色を呈する。
- ・ フラボノイド（ウンシュウミカン果皮エキス）
本品 1 mL にメタノールを加えて 50 mL とする。この液 2 mL にリボン状マグネシウム 0.1 g および塩酸 1 mL を加えて放置するとき、液は淡黄～淡赤色を呈する。
- ・ サポニン（ユズ種子エキス）
本品 0.3 mL に無水酢酸 5 mL を加える。この液に硫酸 1 mL をおだやかに加えるとき、接界面は、赤褐色を呈する。
- ・ ポリフェノール類（イチゴ果実エキス）
本品 30 μ L を、3.5 mL の水に加え、フォーリンデニス試薬*¹ 0.2 mL と飽和炭酸ナトリウム溶液*² 0.4 mL を加えるとき、液は青色に呈する。

- *1: フェノール試薬(フォーリン・チオカルト試薬)を水で2倍に希釈用いる。
- *2: 炭酸ナトリウム(無水)35 gに水 100 mLを加え、70~80°Cで溶解する。一夜室温にて放置し、生じた沈殿を除去した後、上澄みを用いる。

- ・ 糖 (キウイ種子エキス)

本品 0.5 mL に α -ナフトール・エタノール溶液(1→20)を 2~3 滴を加えてよく振り混ぜた後、硫酸 1~2 mLを穏やかに加えるとき、両液の接界面は、赤紫色を呈する。

- ・ キサントン類 (マンゴスチン果皮エキス)

本品 1 mL にジエチルエーテル 2 mLを加え混合し静置する。この液の上層 1 mL に 1N NaOH 200 μ Lを加えるとき、下層は黄色~赤色を呈する。

- ・ サリチル酸

本品 1 mLに希塩化第二鉄試液 5~6 滴を加えるとき、液は赤色を呈し、希塩酸を滴下していくと、液の色は、初め紫色に変わり、後に消える。

- ・ アラントイン

本品 2 mL に希塩酸 10 mLを加えて 5 分間煮沸し、これに塩酸フェニルヒドラジン溶液(1→100)10 mLを加えて冷却し、フェリシアン化カリウム試液 0.5 mL 及び塩酸 1 mLを加えるとき、液は薄赤色を呈し、時間をおくと徐々に赤味を増す。

- ・ グリチルリチン酸ジカリウム

本品 2 mL に水 5 mL 及び塩酸 3 mLを加えて蒸留し、留液に 2,4-ジニトロフェニルヒドラジン試液を 3~4 滴を加えるとき、とう赤色に呈し、時間をおくととう赤色の沈殿を生じる。

pH (1→10) 4.0 ~ 6.0

純度試験

- ・ 重金属

本品 1.0 g をとり、第 2 法により操作し、試験を行うとき、その限度は、20 ppm 以下である。ただし、比較液には、鉛標準液 1.0 mL をとる。

- ・ ヒ素

本品 1.0 g をとり、第 3 法により試料溶液を調製し、試験を行うとき、その限度は、2 ppm 以下である。

一般生菌数

衛生試験法 細菌一般試験法に従い、標準寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、一般生菌数は 1×10^2 個/g 以下である。

真菌数

衛生試験法 真菌一般試験法に従い、クロラムフェニコール添加ポテトデキストロース寒天培地を用い、試料原液を希釈液で 10 倍希釈し試験を行うとき、真菌数は 1×10^2 個/g 以下である。

大腸菌群

衛生試験法 汚染指標細菌試験法大腸菌群に従い、BGLB 培地を用い、上記一般生菌数で使用した 10 倍希釈液 1mL を試料溶液とし試験を行うとき、大腸菌群は陰性である。

この規格及び試験方法において、別に規定するものの他は、外原規 通則及び一般試験法を準用するものとする。

製品名：ベリーベリー® アクネケア 製造業者：オリザ油化株式会社 愛知県一宮市北方町沼田 1
--

発行日：2015 年 8 月 11 日

改定日：2019 年 9 月 6 日